
2025年度 連結業績予想の修正について

2026年4月24日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□2025年度 連結業績予想	・・・	2
□2025年度 連結業績予想の修正概要	・・・	3

■ 2025年度 連結業績予想

2026年1月30日に公表した連結業績予想につきまして、至近の動向を反映し、以下のとおり修正いたしました。
なお、当社は2026年4月28日に2025年度の決算発表を予定しております。

(単位：億円、億kWh)

	2025年度見通し			今回見通し 対前年度増減
	今回公表 (A)	1月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	8,560程度	8,670程度	△110程度	△460程度
営業利益	730程度	590程度	140程度	△20程度
経常利益	610程度	430程度	180程度	△30程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	440程度	280程度	160程度	△200程度
(対前年度増減率) 小売・他社販売電力量	(1.6%程度) 341程度	(3.1%程度) 346程度	△ 5程度	5程度
(対前年度増減率) 小売販売電力量	(△3.0%程度) 221程度	(△0.4%程度) 227程度	△ 6程度	△ 7程度

※ 小売販売電力量および小売・他社販売電力量は、北海道電力(株)および北海道電力ネットワーク(株)の販売電力量を示している。

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	151程度	150程度	1程度	△ 2程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	71.0程度	71.0程度	同程度	△ 11.0程度

■ 2025年度 連結業績予想の修正概要

小売・他社 販売電力量	冬季の高気温による暖房需要の減少などにより、小売販売電力量が減少する見込みであることから、小売・他社販売電力量の合計では、1月公表値に比べ5億kWh減少の341億kWh程度となる見通しです。
売上高	小売販売電力量が減少する見込みであることなどにより、1月公表値に比べ110億円減少の8,560億円程度となる見通しです。
経常利益	石油火力稼働減に加え、収益拡大・費用低減の取り組みや諸経費等の支出時期ずれなどによる費用の減少などにより、1月公表値に比べ180億円増加の610億円程度となる見通しです。
親会社株主に 帰属する 当期純利益	経常利益の増加などにより、1月公表値に比べ160億円増加の440億円程度となる見通しです。

< 経常利益の変動要因（対1月公表比較） >

（単位：億円程度）

